

~~~~~  
これでいいのか！自民党～衆議院山梨1区支部長選考について

今山梨が大変な状況です。自民党内が混乱し、保守勢力が分裂しようとしています。昨年夏の参議院議員選挙で、打倒民主党を旗印に県内外の保守勢力が結集して善戦した山梨。自民党の再生、保守派の結集拠点となった山梨。その山梨を、自民党県連と候補自らが、党内を混乱させ、保守勢力を分裂に追い込もうとしています。これは、山梨だけでとどまらず、自民党全体に波及し自殺行為となり、民主党の思う壺となりかねません。

#### ● 1区に参院選に応援した宮川典子が急浮上

10月13日（木）自民党本部は山梨県連に対して、年内に全小選挙区を選任するよう要請しました。任期半分を切った今でも、全国で唯一山梨県だけが一人も衆議院支部長が選任されていなかったからです。要請を受けた県連は、突如として1区宮川典子（昨年の参院選候補者）、2区山下政樹（山梨県議）、3区中谷真一（佐藤正久参議院議員秘書）の擁立を言い出しました。

平成23年10月14日（金）付読売新聞山梨版「自民県連 1区に宮川氏擁立へ」  
[http://www.akaike-office.net/jpg/2011/10/H231014\\_yomiuri\\_miyagawa.jpg](http://www.akaike-office.net/jpg/2011/10/H231014_yomiuri_miyagawa.jpg)

私は驚きました。昨年来からの衆議院支部長の公募選考は中断しており、なおかつ、なぜ中断になったのかももうやむやのまま、まったく説明もなく、その後の選任の手続きが行われていなかったからです。さらに、私の選挙区である山梨1区において、松下政経塾の後輩で、昨年夏の参議院選挙で、県内外の同志とともに、必死に応援した候補者が、私の対抗馬として急浮上したのです。彼女は、衆議院支部長公募の時も、参院選に再度挑戦したいと固辞した経緯もあります。

同じ党の中で、知らない間柄でもないどころか、彼女が松下政経塾に入塾したいといってきた頃から相談にのり知っているのに、なぜ一言もなく、いきなり後ろから棍棒でなぐりつけるようなことをするのか？そもそも、なぜ、「自民党のために…」と主張してきた彼女が、自民党を混乱に陥れ、自民党を崩壊させるような行為にはしるのか。まったくもって、不可解きわまりなく、理解に苦しみます。

赤池も宮川も応援したいと言っていた支援者の方々が、非常に心を痛めておられる姿…。彼女は、支援者の方々の思いをいったいぜんたいどう考えているのでしょうか？

#### ● 強行する県連執行部

10月24日（月）自民党県議団会議が開催されました。翌日の地元新聞は、一面トップで候補が決まったかのような報道ぶりです。確かな筋によると、執行部から提案はあったが、何も決まっていなとの答えです。地域支部長の声を聞くということが決定しただけだとの答えです。

平成23年10月25日（火）付山梨日日新聞「前議員の扱い協議せず 保守分裂」  
[http://www.akaike-office.net/jpg/2011/10/H231025\\_sannishi\\_hosyubunretu.jpg](http://www.akaike-office.net/jpg/2011/10/H231025_sannishi_hosyubunretu.jpg)

自民党県連は、10月25日付で、31日（月）午後1時から小選挙区ごとに「県議団と地域支部長合同会議」を開催するとの案内を発送しました。各地の地域支部長からは「大事な会なのに、連絡が急すぎる」「都合があり参加できない。代理を出そうとしたら県連に断られた」との連絡が入ります。

他の地域支部長からは、続々と「宮川典子が1区から衆議院に出るのでよろしくと言って、回ってきたぞ」と連絡がはいります。「留守宅に名刺が置いてあった」と教えてくれた方もいます。「宮川典子は参議院に出ると言ったのではないか？」「二人を応援しようと思っていたのに…」「こんな話、寝耳に水だぞ？」と困惑する地域支部長たち。私は、なぜ自民党をわざわざ分裂させ壊すようなことをするのか、その真意が知りたく、彼女と連絡をとろうとしました。しかしながら、いまだ会って話をすることもかなわず、彼女の真意はわからずじまいです。

宮川典子さん、なぜ、自民党のためにとっていたあなたが、自民党を混乱に陥れ、自民党を壊すようなことをするのか。私があなたと会って話をしたかったのは、ただ、この一点です。

## ●後援会の要請書と私の公認申請書の受取り拒否

私の後援会「誠友会」（天野丈重会長）では、10月28日（金）午後2時に自民党県連に対して、「この2年間何度も要請してきたが、私たちが支援する自民党前衆議院議員の赤池まさあきを支部長選考の議論の俎上にのせてほしい」との要請を行いました。しかしながら、後援会長が要請文を手渡そうとすると受け取りを拒否されました。また、私赤池自身も「山梨1区から立候補を決意し、自民党への公認及び1区支部長選出の申請書」を提出しようとしたのですが、これまた受け取り拒否です。

党员であり、県連顧問である私の申請や、私を支援する後援会の要請を何故頑なに拒否するのか。なぜ、議論することさえもしようとしないのか。31日（月）の県議と地域支部長の合同会議は、選考を議論する場ではなく、単なるセレモニー、すべては出来レース、株主総会のシャンシャン大会にするつもりのようなのです。

戦後長年に渡って政権を担ってきた自民党、そして山梨はその自民党の中核、保守王国でした。自民党立党の理念は「開かれた国民政党」です。自由闊達な議論の中から、衆知を集めることです。一連の県連執行部の対応は、問答無用、非民主的で、公党の自殺行為です。「民主党はだめだけど、自民党もだめ…」を証明するようなものです。広く世界を見れば、どんどん独裁国家体制が国民の手で倒されていっている中、ここ山梨では、まさに独裁体制がはじまろうとするような動き。しかも、こともあろうに、自民党で！こんなことでいいわけありません。

## ●「これでいいのか！自民党」緊急会議を開催

私は20年前に腐敗した政治を立て直したいと政治活動を始めました。素朴な愛郷心、愛国心からです。先人たちが築き上げたこの素晴らしい日本、山梨を、しっかり受け継ぎ、良くして後世に伝えていきたいと思ってやってきました。

今の日本の政治状況を例えると次のようなものです。日本という国土に根ざして土台はしっかりしていても、老朽・腐敗化して朽ち落ちる寸前の旧家・自民党。見栄えが良い新築の家だが、土台がなく、外圧や地震で倒壊してしまう民主党、そのような中での私は、老朽化した自民党を変え、そして、土台のない民主党を打倒したいと思っています。日本の歴史にしっかりと根ざし、そして頑丈な土台の上に、新しい家を建てたい。「伝統と創造」「道義大国」づくり、それが私の念願です。そのためにも、今、負けるわけにはいきません。

先日10月19日（火）に、靖国神社の秋の例大祭に昇殿参拝しました。英霊の方々のことを思えば、今回のことなど何でもないと思えました。

また、国籍法改正問題をきっかけに、多くの全国の同志ができ、そして現在も支援や激励を頂いております。先日も激励の電話やメールを頂きました。早期支部長復帰を求める運動を展開してくれている同志もおります。

応援サイトはこちら <http://www.sns-freejapan.jp/2011/08/30/akaike-6/>

自民党の混乱を止め、保守分裂を回避するために、下記のような緊急会議を開催することとなりました。今の多くの自民党のあり方がおかしいと思っている方、自民党を変え、民主党を打倒し、道義大国をつくるために、多くの方々のご参集をお願い申し上げます。

## ●「このままでいいのか！自民党」

日時：10月30日（日）午後7時から8時30分まで（開場6時30分）

会場：山梨県立青少年センター 本館3階研修室（甲府市川田町）

ゲスト：稲田朋美・衆議院議員、「伝統と創造の会」会長

作曲家すぎやまこういち先生

入場：無料

---

イケイケあかいけ！赤池まさあき（山梨1区）国政ニュース

発行システム：『まぐまぐ！』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000180747.html>

---